

令和7年度 県民表彰受賞者一覧

部門	氏名	年齢	主要経歴	現住所
地方自治	シブヤ トシヒコ 渋谷 俊彦	83	元 出水市長	出水市
	スワ ケンサク 諏訪 健作	79	元 鹿児島県公平委員会連合会会長 元 鹿児島市公平委員会委員長	鹿児島市
教育文化 スポーツ	トミナガ ヒロシ 富永 宏	88	元 鹿児島県私立幼稚園協会副会長 元 鹿児島市私立幼稚園協会会長	鹿児島市
	シマヅ キミヤス 島津 公保	75	元 鹿児島県教育委員会委員長	鹿児島市
産業経済	コマサ ヨシフミ 小正 芳史	76	現 鹿児島県中小企業団体中央会会長 元 全国中小企業団体中央会副会長	鹿児島市
くらし・環境	タカダ アキホ 高田 秋穂	78	元 鹿児島中央地区防犯団体連合会副会長 現 鹿児島県防犯協会評議員	鹿児島市

※年齢は令和7年10月31日現在

※令和7年度県民表彰式開催日時

10月31日（金）午前11時～ 議会庁舎6階本会議場

しぶ や とし ひ こ
渋谷 俊彦

◆年 齢／満83歳

◆現住所／出水市

●主な経歴

時期	経歴
昭和57年11月～平成7年3月	出水市議会議員
平成2年11月～平成4年11月	出水市議会副議長
平成11年6月～平成18年3月	出水市長（合併前）
平成18年4月～平成30年4月	出水市長
平成19年10月～平成22年2月	鹿児島県市長会理事
平成22年2月～平成30年4月	鹿児島県市長会副会長
平成12年5月～平成14年5月	九州市長会理事
平成13年6月～平成14年6月	全国市長会評議員
平成16年6月～平成17年6月	同上
平成20年6月～平成21年6月	同上
平成24年6月～平成25年6月	全国市長会理事
平成29年6月～平成30年6月	同上
平成11年6月～平成21年5月	社団法人出水市シルバー人材センター理事長
平成11年7月～平成15年6月	北薩広域行政事務組合理事長
平成18年5月～平成22年4月	同上
平成26年5月～平成30年4月	同上
平成11年6月～平成12年11月	出水市土地開発公社理事長
平成14年11月～平成18年3月	同上
平成18年6月～平成18年8月	同上
令和3年6月～令和5年11月	出水市社会福祉協議会会長
令和3年5月～現在	いずみ郷土研究会会長

●主な受賞歴

時期	受賞歴
平成5年5月	全国市議会議長会会長表彰（勤続10年）
令和4年11月	旭日中綬章（地方自治功労）

●主な功績

〈概要〉

出水市議会議員を12年5月務めた後、平成11年6月に出水市長に就任し、平成18年4月には、市町村合併により誕生した新出水市の市長に就任した。合併前の出水市長と合わせて、通算5期18年9月の長きにわたり市勢の発展並びに教育、文化及び福祉の向上に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 市町村合併時には、平成15年11月に設置された出水市・高尾野町・野田町合併協議会の会長として、豊かな見識を存分に発揮し、住民福祉向上の精神をもって各市町の住民の意見を尊重しながら、協調の姿勢で粘り強く協議を重ね、新出水市の誕生に尽力。
- ・ 広域幹線交通網の整備により、地域経済の更なる活性化、災害時の避難路や緊急輸送道路としての機能を担うため、出水市と阿久根市を結ぶ南九州西回り自動車道出水阿久根道路の総延長約15kmの全線開通に尽力。
- ・ 市の経済・人流の活性化及び住民の利便性の向上のため、新幹線出水駅の開設について関係機関に対して強く要望し、平成16年3月に鹿児島中央・新八代間の部分開通により念願の新幹線出水駅が開業し、産業発展及び観光振興の促進に貢献。
- ・ 市で生産される農産物・加工品、特産品を展示販売する直売所「特産館いずみ」の建設に尽力し、地元で生産されたという安心・安全を基本とした直売所は、生産者の生産意欲の向上のみならず、生産者と消費者、都市と農村の交流の場として活用されるとともに、観光客の誘客に大きく貢献。
- ・ 妊産婦などが抱える不安を少しでも解消し、安心して子育てすることができる環境を整備するため、平成29年10月に出水老人福祉センター内に新たに子育て支援室を開設したほか、中学生までが対象となっていた医療費助成制度において、高校生まで医療費無償化を拡充させるなど、住民福祉の向上に大きく貢献。
- ・ 平成19年3月に子供の読書活動推進事業を展開するため、「出水兵児読書活動推進計画」を策定し、同年10月に「第1回読書活動日本一のまちづくり推進大会」を開催した。その後も第二次出水市読書推進計画を策定するなど、「読書による人づくり、ふるさとづくりのまち」を基本理念に活動の礎を築き、読書環境の進展に貢献。

す わ けん さ く 諏 訪 健 笹

◆年 齢／満79歳

◆現住所／鹿児島市

●主な経歴

時期	経歴
昭和53年9月～現在	鹿児島トヨタフォークリフト株式会社取締役
平成9年5月～平成22年3月	鹿児島トヨタフォークリフト株式会社代表取締役社長 (平成10年10月からトヨタエルアンドエフ鹿児島株式会社)
平成23年7月～現在	トヨタエルアンドエフ鹿児島株式会社代表取締役社長
平成11年5月～平成27年5月	株式会社トヨタレンタリース鹿児島代表取締役社長
平成27年5月～現在	株式会社トヨタレンタリース鹿児島代表取締役会長
平成14年6月～現在	トヨタカローラ鹿児島株式会社取締役
平成17年7月～令和3年6月	鹿児島市公平委員会委員
平成23年8月～平成25年6月	鹿児島市公平委員会委員長
平成25年7月～平成29年6月	同上
平成29年7月～令和3年6月	同上
平成23年9月～令和3年6月	鹿児島県公平委員会連合会会長
平成23年9月～令和3年6月	全国公平委員会連合会理事
平成28年10月～平成29年9月	全国公平委員会連合会九州支部支部長
平成20年6月～現在	公益社団法人鹿児島県労働基準協会理事
平成24年6月～令和6年6月	公益社団法人鹿児島県労働基準協会会長
平成25年4月～平成26年4月	鹿児島県経営者協会理事
平成26年4月～平成29年4月	鹿児島県経営者協会副会長
平成29年4月～令和5年4月	鹿児島県経営者協会会長
令和5年4月～現在	鹿児島県経営者協会顧問
平成21年5月～平成25年5月	社団法人鹿児島法人会副会長 (平成24年4月から公益社団法人鹿児島法人会)
平成25年5月～令和元年5月	公益社団法人鹿児島法人会会長

時期	受賞歴
平成23年10月	厚生労働大臣表彰（安全衛生に係る功績者）
平成28年10月	公平委員会制度65周年記念総務大臣表彰
令和元年10月	令和元年度財務大臣納税表彰
令和3年10月	全国公平委員会連合会特別表彰
令和3年11月	鹿児島市民表彰
令和5年11月	旭日単光章（地方自治功劳）

● 主な功績

〈概要〉

企業の経営者として地域経済の発展に寄与するとともに、鹿児島県公平委員会連合会会長や鹿児島市公平委員会委員長等の要職を歴任するなど、長年にわたり本県の公平中立な人事行政の確立に務められ、地方行政の民主的かつ能率的運営の実現に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 平成 17 年 7 月に鹿児島市公平委員会委員に就任し、平成 23 年 8 月からは通算 9 年 8 月にわたって同委員長として、平成 23 年 9 月からは鹿児島県公平委員会連合会会長として、9 年 9 月にわたって会務の総理に尽力。
- ・ 鹿児島市公平委員会委員在任中は、公平委員会の権限である職員の勤務条件に関する措置の要求に係る審査や苦情相談など数多くの事案に携わり、それらに一つ一つ丁寧にかつ真摯に対応した。なかでも苦情相談については、職員が意欲を持って安心して職務に精励できるよう、相談窓口の周知に努め、市当局へ助言等を積極的に実施。
- ・ 鹿児島市公平委員会委員長として、公平審査制度の重要性を周囲に認識させるとともに、委員会の中心人物として、公平委員会の目的である公平な人事行政の確立を念頭に、常に委員の先頭に立ち、組織の確立及び公正な運営に努力を重ね、公平円滑な委員会運営に尽力。
- ・ 鹿児島県公平委員会連合会会長としては、県内各市と事例研究会等の研修機会を設けることにより、各市の公平委員の審査能力の向上を図るとともに、事務局職員の資質向上に尽力。
- ・ 職務遂行のために各種会合や研修会等にも積極的に参加し、地方自治の本旨及び民主的で能率的な事務への深い理解と人事行政に関する高い識見をもって、勤務条件に係る公正な審査と迅速かつ的確な措置に努めるなど、職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するために尽力。
- ・ 全国公平委員会連合会理事として全国各市町村の公平委員会との情報交換にも努め、平成 29 年に鹿児島市で開催された全国公平委員会連合会九州支部総会では、九州支部長としての的確に議事を進行することにより総会をまとめあげ、委員会間の連携強化を推進。

と み な が ひろし
富 永 宏

◆ 年 齢／満88歳

◆ 現住所／鹿児島市

時 期	経 歴
平成13年4月～平成27年3月	学校法人伊敷町学園伊敷幼稚園園長
平成27年4月～令和3年2月	学校法人伊敷町学園認定こども園伊敷幼稚園園長
令和2年4月～令和3年2月	学校法人伊敷町学園認定こども園伊敷幼稚園副理事長
令和3年2月～現在	学校法人伊敷町学園認定こども園伊敷幼稚園理事長
平成14年5月～令和6年5月	鹿児島市私立幼稚園協会理事
平成20年4月～平成22年4月	鹿児島市私立幼稚園協会副会長
平成22年4月～令和6年5月	鹿児島市私立幼稚園協会会長
令和6年5月～現在	鹿児島市私立幼稚園協会顧問・監事
平成16年5月～令和6年5月	鹿児島県私立幼稚園協会理事
平成22年5月～令和6年5月	鹿児島県私立幼稚園協会副会長
	(平成25年4月から一般社団法人鹿児島県私立幼稚園協会)
令和6年5月～現在	一般社団法人鹿児島県私立幼稚園協会監事
平成22年5月～令和6年5月	全日本私立幼稚園連合会九州地区会理事
令和6年5月～現在	全日本私立幼稚園連合会九州地区会監事
平成22年6月～平成28年5月	鹿児島県私立幼稚園退職金基金社団理事
	(平成25年4月から一般社団法人鹿児島県私立幼稚園退職金基金社団)
平成29年6月～現在	一般社団法人鹿児島県私立幼稚園退職金基金社団理事
平成22年5月～令和6年5月	公益財団法人かごしま教育文化振興財団評議員
平成24年4月～令和6年6月	公益財団法人鹿児島市公園公社理事
平成22年11月～令和6年3月	鹿児島市特別支援連携協議会委員
平成23年4月～令和6年5月	鹿児島市社会福祉審議会委員
平成25年7月～令和6年5月	鹿児島市子ども・子育て会議委員
平成25年11月～令和元年10月	鹿児島市子育て支援ネットワーク会議委員

時 期	受賞歴
令和2年4月	鹿児島県私立学校教育功労者表彰
令和5年10月	鹿児島市民表彰
令和6年4月	瑞宝双光章（教育・保育功労，教育功労）

●主な功績

〈概要〉

卓越した行動力とリーダーシップを発揮し、鹿児島市私立幼稚園協会会長や鹿児島県私立幼稚園協会副会長を歴任するなど、長年にわたり本県の乳幼児期の教育・保育の質の向上に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 平成22年4月から鹿児島市私立幼稚園協会会長を約14年、平成22年5月から鹿児島県私立幼稚園協会副会長を約14年務めた。
- ・ 「子どもたちの環境を最善のものにする」という目的の下、平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が導入された際には、両協会の先頭に立ち、行政と共に理事長・園長たちへの普及・啓発活動を実施。
- ・ 令和7年4月現在、鹿児島県私立幼稚園協会に加入している幼稚園147園中107園が保育機能を提供する認定こども園への移行を実現し、令和7年度における移行率の見込みが、全国の45.1パーセントに対し、鹿児島県は72.8パーセントと上回り、全国において先進的なものとなるなど、本県の幼保一元化の推進と保育の受け皿拡大に大きく貢献。
- ・ 各幼稚園、認定こども園等を発展させるため、県及び市の関係部局や議会議員との相互理解を深め、幼児教育の質の向上を図った。
- ・ 鹿児島市主催の幼児教育から小学校へ円滑に接続するための「幼小連携研修会」では、鹿児島市保育園協会にも参加を呼び掛け、平成28年には、「幼保小連携研修会」として、幼稚園、認定こども園、保育所と小学校との大きな連携の輪の構築を実現。
- ・ 鹿児島県私立幼稚園協会主催の土曜研修会で氏が行った、こどもの主体性を育む保育に関する講演は好評を博し、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構主催のオンデマンド研修においても配信され、全日本私立幼稚園連合会に加盟している幼稚園・認定こども園の教職員が受講するなど、数多くの指導講話等を通じて教職員の資質向上に貢献。
- ・ 国の幼児教育の推進体制事業の推進に伴い、幼児教育センター及び幼児教育アドバイザーの必要性・重要性について行政に説明し、その設置等を強く要望するとともに意見交換を行うなど、令和7年4月に実現した「鹿児島県幼児教育センター」の設置及び「幼児教育アドバイザー」の配置に尽力。

しま づ き み や す
島 津 公 保

- ◆ 年 齢 / 満 75 歳
◆ 現 住 所 / 鹿 児 島 市

● 主 な 経 歴

時 期	経 歴
平成 11 年 6 月 ～ 平成 13 年 3 月	株式会社島津興業代表取締役副社長
平成 13 年 4 月 ～ 平成 19 年 5 月	株式会社島津興業代表取締役社長
平成 19 年 6 月 ～ 平成 21 年 6 月	株式会社島津興業副会長
平成 21 年 7 月 ～ 平成 27 年 5 月	株式会社島津興業顧問
平成 27 年 6 月 ～ 令和 7 年 3 月	株式会社島津興業取締役相談役
平成 15 年 7 月 ～ 令和 7 年 10 月	南九州クリーンエネルギー株式会社代表取締役社長
平成 19 年 10 月 ～ 令和 5 年 10 月	鹿児島県教育委員会委員
平成 20 年 10 月 ～ 平成 27 年 3 月	鹿児島県教育委員会委員長
平成 27 年 1 月 ～ 平成 28 年 2 月	全国都道府県教育委員会連合会理事
令和 5 年 1 月 ～ 令和 5 年 10 月	同上
平成 14 年 7 月 ～ 平成 27 年 8 月	鹿児島商工会議所議員
平成 28 年 11 月 ～ 令和 7 年 10 月	同上
令和 元 年 11 月 ～ 令和 7 年 10 月	鹿児島商工会議所監事
平成 19 年 11 月 ～ 平成 25 年 10 月	鹿児島商工会議所副会頭
平成 13 年 6 月 ～ 平成 26 年 6 月	公益社団法人鹿児島県観光連盟理事
平成 16 年 4 月 ～ 平成 26 年 7 月	全国産業観光推進協議会理事
平成 21 年 7 月 ～ 令和 5 年 6 月	鹿児島県観光立県推進会議委員
平成 16 年 ～ 令和 7 年 5 月	鹿児島県観光誘致促進協議会理事
令和 7 年 5 月 ～ 現在	鹿児島県観光誘致促進協議会相談役
平成 25 年 10 月 ～ 現在	一般財団法人産業遺産国民会議理事
平成 26 年 10 月 ～ 現在	鹿児島日英協会理事
平成 30 年 10 月 ～ 現在	鹿児島日英協会会長
平成 10 年 4 月 ～ 現在	学校法人前田学園理事
平成 24 年 6 月 ～ 現在	公益社団法人三州倶楽部評議員

● 主 な 受 賞 歴

時 期	受 賞 歴
平成 29 年 10 月	文部科学大臣表彰（地方教育行政功労）
令和 6 年 11 月	旭日双光章（地方教育行政功労）

●主な功績

〈概要〉

企業経営者として地域経済の発展に寄与するとともに、鹿児島県教育委員会委員長等の要職を歴任するなど、長年にわたり本県教育文化の向上に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 平成19年10月に鹿児島県教育委員会委員、平成20年10月には同委員長に就任した。在任中には、「鹿児島県教育振興基本計画」の策定や「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」の実施等により、本県教育の振興に尽力。
- ・ 本県の基礎学力の向上を目指すため、本県独自の「基礎・基本」定着度調査を通じて、児童生徒の学力を的確に把握したほか、基礎的な知識・技能を活用する力を高めるための問題や解説を掲載した学習ガイド「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」の利用を促進。
- ・ 大隅地域における公立高等学校の充実・振興を図り、特色ある高等学校づくりや大隅地域の活性化につながる具体的な方策を検討するため、「大隅地域の公立高校の在り方検討委員会」を設置したほか、全国初の公立の全寮制中高一貫男子校である楠隼中学校・高等学校の新設に尽力するなど、県内の公立高等学校の振興に貢献。
- ・ 特別支援学校等に通学することが困難な障害のある離島の生徒に対して、与論高等学校や徳之島高等学校等の校舎を活用し、大島養護学校（現：大島特別支援学校）の教諭等による高等部訪問教育の実施を図ったほか、障害のある子供を取り巻く環境の変化や障害者差別解消法の円滑な運用などに対応するため、県教育委員会事務局への特別支援教育室の設置に尽力し、令和5年4月には、鹿児島南特別支援学校の新設に尽力するなど、特別支援学校の整備等に努め、特別支援教育の充実に大きく貢献。
- ・ 令和5年に開催された「燃ゆる感動かごしま国体」に向けて指導体制の充実及び選手の発掘・育成・強化などに取り組み、競技力向上の推進に尽力。
- ・ 令和5年に開催された第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会においては、実行委員会等の創設、カウントダウンイベントを通じた広報活動等を精力的に展開し、国内最大級の芸術文化の祭典に向けた県民の気運の醸成に尽力。

こ ま さ よ し ふ み
小 正 芳 史

◆年 齢／満76歳

◆現住所／鹿児島市

時 期	経 歴
昭和52年12月～昭和57年7月	小正醸造株式会社取締役
昭和57年8月～平成31年3月	小正醸造株式会社代表取締役社長
平成31年4月～現在	小正醸造株式会社代表取締役会長
令和4年3月～令和7年6月	小正ホールディングス株式会社代表取締役社長
令和7年6月～現在	小正ホールディングス株式会社代表取締役会長
平成14年5月～平成24年5月	鹿児島県中小企業団体中央会副会長
平成24年5月～現在	鹿児島県中小企業団体中央会会長
平成27年7月～令和元年6月	全国中小企業団体中央会副会長
令和元年7月～令和3年6月	全国中小企業団体中央会理事
令和3年7月～令和5年6月	全国中小企業団体中央会監事
令和5年7月～令和7年6月	全国中小企業団体中央会理事
平成3年5月～平成9年5月	鹿児島総合卸商業団地協同組合理事
平成9年5月～平成20年5月	鹿児島総合卸商業団地協同組合副理事長
平成20年5月～現在	鹿児島総合卸商業団地協同組合理事長
平成21年6月～平成22年6月	全国卸商業団地協同組合連合会理事
平成22年6月～現在	全国卸商業団地協同組合連合会副会長
平成18年6月～現在	鹿児島県火災共済協同組合理事長
平成28年7月～令和4年7月	中小企業政策審議会委員
平成6年5月～令和2年3月	本格焼酎事業協同組合理事
平成11年8月～平成21年8月	鹿児島県酒造協同組合理事
平成25年8月～令和元年8月	同上
平成10年3月～平成19年9月	鹿児島県酒造組合連合会理事

時 期	受賞歴
平成16年10月	中小企業庁長官表彰（組合功労）
平成21年10月	経済産業大臣表彰（組合功労）
平成23年5月	鹿児島県知事表彰（組合功労）
令和6年4月	旭日小綬章（中小企業振興功労）

●主な功績

〈概要〉

企業経営者として地域経済の発展に寄与するとともに、鹿児島県中小企業団体中央会会長等の要職を歴任するなど、長年にわたり本県の中小企業の振興と地域経済の発展に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 平成24年5月から現在に至るまでの約13年にわたり鹿児島県中小企業団体中央会会長として、平成27年7月から令和元年6月までの4年にわたり全国中小企業団体中央会副会長として、事業協同組合等の組合員である中小企業・小規模事業者の発展に貢献。
- ・ 鹿児島県中小企業団体中央会会長として、少子高齢化やデジタル技術の発展など、経営環境が日々変化する中、中小企業者が生き残るためには、事業協同組合等の事業活性化や企業間の連携による経営力の強化が必要であると考え、様々な共同事業を実施している組合が他の組合等と連携して事業を展開する「中小企業組合等異分野連携促進事業」に取り組むなど、各種補助事業の活用の推進に尽力。
- ・ 組合のみならず個別の中小企業者も支援するため、平成24年度から実施されている通称「ものづくり補助金」を鹿児島県下の中小企業に広く周知し、活用につなげた。同補助金の制度やその成果を周知するため、平成25年以降、県下全域で、延べ76回の公募説明会を開催するなど、県内中小企業者の「稼ぐ力」の向上に尽力。
- ・ 昭和57年以来、中小企業団体全国大会が鹿児島県で35年以上開催されていないことに着目し、全国中小企業団体中央会の会議等で具体的な開催企画等を提示するなど、開催招致に積極的に取り組んだ結果、令和元年11月に鹿児島県で全国大会が開催され、中小企業の持続的な成長や豊かな地域社会の実現、県内組合関係者のより一層の連携強化に貢献。
- ・ 平成28年に発生した熊本地震においては、熊本県中小企業団体中央会が入居する会館が被災し、被害の実態把握ができない状態が続いたため、即座に九州各県の連携を図り、熊本県内の被災状況を調査し、被害の実態を国に報告するなど災害の早期復興に必要な情報収集・分析等を実施し、後に国の震災復興プラン構築に活用された。

た か だ あ き ほ
高 田 秋 穂

◆ 年 齢 / 満 78 歳

◆ 現 住 所 / 鹿 児 島 市

● 主 な 経 歴

時 期	経 歴
平成 18 年 8 月 ～ 現 在	NP0 法 人 ク リ ー ン パ ト ロ ー ル 鹿 児 島 理 事 長
平成 18 年 5 月 ～ 令 和 5 年 6 月	鹿 児 島 中 央 地 区 防 犯 団 体 連 合 会 副 会 長
平成 21 年 5 月 ～ 現 在	鹿 児 島 県 暴 力 追 放 運 動 推 進 セ ン タ ー 評 議 員
平成 24 年 4 月 ～ 現 在	鹿 児 島 県 公 安 委 員 会 少 年 指 導 委 員
平成 25 年 6 月 ～ 現 在	鹿 児 島 県 防 犯 協 会 評 議 員
平成 28 年 8 月 ～ 現 在	鹿 児 島 県 警 察 本 部 防 犯 ア ド バ イ ザ ー
令 和 4 年 5 月 ～ 現 在	鹿 児 島 県 暴 力 追 放 運 動 推 進 会 議 評 議 員
昭 和 63 年 7 月 ～ 現 在	鹿 児 島 中 央 警 察 署 青 少 年 健 全 育 成 推 進 指 導 委 員 会 会 長
平成 28 年 7 月 ～ 現 在	鹿 児 島 中 央 警 察 署 天 文 館 風 俗 環 境 保 全 協 議 会 委 員
令 和 3 年 3 月 ～ 現 在	鹿 児 島 中 央 警 察 署 天 ち ゃ ん 会 会 長
平成 18 年 2 月 ～ 現 在	鹿 児 島 市 安 心 安 全 ま ち づ く り 推 進 会 議 委 員
昭 和 61 年 4 月 ～ 現 在	鹿 児 島 市 立 鹿 児 島 女 子 高 等 学 校 生 活 科 学 科 非 常 勤 講 師
平成 17 年 4 月 ～ 現 在	日 本 空 手 道 正 法 館 会 長
平成 22 年 4 月 ～ 現 在	I ・ B ・ A 情 報 懇 話 会 会 長

● 主 な 受 賞 歴

時 期	受 賞 歴
平成 10 年 10 月	全 国 地 域 安 全 運 動 中 央 大 会 社 会 安 全 貢 献 賞
平成 17 年 11 月	鹿 児 島 市 安 心 安 全 功 労 団 体 等 表 彰
平成 19 年 10 月	鹿 児 島 県 防 犯 功 労 団 体 表 彰
平成 19 年 10 月	内 閣 総 理 大 臣 表 彰 （ 安 全 安 心 な ま ち づ く り 関 係 功 労 者 ）
平成 22 年 11 月	藍 綬 褒 章
令 和 6 年 2 月	鹿 児 島 地 域 づ く り 表 彰
令 和 6 年 10 月	鹿 児 島 市 民 表 彰

●主な功績

〈概要〉

「街の灯台守」であるNPO法人クリーンパトロール鹿児島の理事長として、地域の環境浄化活動や青少年健全育成活動に尽力するとともに、鹿児島中央地区防犯団体連合会副会長や鹿児島県防犯協会評議員を歴任するなど、長年にわたり本県の防犯活動に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 昭和 63 年 7 月に天文館の環境浄化・青少年健全育成を目的に、国内初「防犯モデル地区」の指定を受け、「モデル地区推進指導委員」の名称でパトロール隊を結成し、「自分たちの住む街の安全は、自分たちで守ろう」という考えのもと、県内外から多くのシンナーを吸う若者や特攻服を着た暴走族が増えた天文館において、定期的な午後 11 時からの深夜パトロールに尽力。
- ・ 平成 18 年 8 月には後継組織である NPO 法人クリーンパトロール鹿児島を設立して、様々な活動を展開し、令和 5 年 11 月には深夜パトロールの回数が 1,000 回を達成。
- ・ 鹿児島中央地区防犯団体連合会副会長としては、鹿児島中央警察署管内における防犯活動を展開する同団体の組織運営のサポートや内部調整役を務めるとともに、自らも防犯キャンペーンや夜間の見回り活動を行うなど、生活に危険を及ぼす犯罪・事故・災害のない明るい社会の建設に大きく貢献。
- ・ 鹿児島県防犯協会評議員としては、地区防犯団体や職域防犯団体等と連携し、自主的・効果的な防犯活動を推進するとともに、県民の防犯意識の普及高揚に努めている同協会の運営に対し、適切な審議や助言を行い、透明性を確保した健全な組織運営に貢献し、犯罪のない安心で安全な地域社会の実現に寄与。
- ・ 地域、行政、警察が協働して、安心・安全なまちづくりを推進することを目的とした防犯ボランティア団体である「鹿児島中央警察署天ちゃん会」の会長として、暴力団排除、風俗環境浄化、清掃などの防犯活動等に取り組み、安心安全なまちづくりの推進に大きく貢献。
- ・ 鹿児島市安心安全まちづくり推進会議委員としては、安心して暮らすことのできる安全な地域社会の実現を図るため、安心安全に関する施策や事業についての議論や、市長の諮問について協議するなど、鹿児島市の「安心安全なまちづくり」の推進に大きく貢献。